

## 平成26年度第4回川崎市青少年科学館協議会摘録

日 時 平成27年3月11日(水) 午後2~3時30分

会 場 かわさき宙と緑の科学館(川崎市青少年科学館) 自然学習棟2階 学習室2

出席者(敬称略)

(1) 委員 (教育職員) 新井正明、志村辰也(社会教育) 中山純史

(公募市民) 渡邊敬三、服部公俊

(学識経験者) 山上明、勝山輝男、木場英久、(家庭教育) 有北郁子

(2) 事務局 島田館長、國司担当課長、大泉、川島、弘田、小鍛冶(生田緑地運営共同事業体)、黒瀬

(3) 傍聴者 0人

凡例 発言者について

□□: 委員、○○: 事務局員(青少年科学館職員)

### 1 開会

事務局より、開会告知、傍聴者受入(定員10人)、記録(録音及び筆記)作成及び会議記録公開について周知

### 2 館長挨拶

以下、山上会長が議事進行

### 3 議事1 平成27年度事業の進行管理について

会長の説明依頼に基づき、各担当から説明

有北 科学展示の小・中学校理科優秀作品展について、現状のパネル・模造紙による展示だけでなく、例えばパワーポイント使用などによる映像展示もできないか。

新井 中学校においては県の作品展への作品提出が10月になるが、科学館における1月の展示に向けて、受験が近くなる生徒に映像データの作成など新たな負担を強いることはできない。一方、11月に行われる連合文化祭における研究発表に向けて、パワーポイントによる資料を作成しているので、これを使用してもらうことはできると思う。

有北 そのようなものを併用してもらおうと、より来館者に興味をもってもらいやすくなると思う。

志村 小学校においては、ほとんどが模造紙で作成されており、児童に対し、これらをデータ化したものを新たに作成することを期待するのは難しいと思う。

勝山 小・中学校理科優秀作品展については、館が場を提供し、多くの人々に子どもたちの研究成果を見てもらうことが趣旨なので、第三者が作品に手を加えず、あるがままを見てもらうのがよいと思う。

服部 館のホームページにおいて、展示の様子をとった写真などを、掲示してはどうか。

新井 先ほどお話しした、連合文化祭におけるパワーポイント資料も提供できる。

館長 館としては、多くの人々に見ていただくことが必要と思うので、データを活用しながら、SNSや館ホームページ等により、当該事業に係る情報発信をしていきたい。

新井 計画に先端科学技術に関する企画展が記載されているが、市経済労働局が先端科学技術に関

し中学生の授業で使える資料として発行している、「サイエンスワールド」という冊子に掲載された企業の技術に関する紹介などをしてもらえると、我々も授業の中で生徒たちに企画展の紹介をしやすくなると思う。

**勝山** 秋の視察において感じたところを述べたい。収集保存事業について自然資料の蓄積が未だ十分ではないと感じた。収蔵庫も整備されているのでさらに力を入れてもらいたい。また所蔵資料についても、事業等で利用しやすくするため、配架における工夫や台帳等による整理を進めてほしい。これらの推進により、周辺地域の資料保存の拠点として認識され、所蔵資料を預けたいと思われるような気運を醸成していけるのではないか。

**木場** 現在台帳と資料の突合作業等を進めていると聞いているので、このような方向で進めてもらえるものと期待している。

**勝山** 一人の学芸員に期待するだけでなく、館全体でサポートするような体制を構築してほしい。

**会長** 中長期計画を具体的に見直してほしいというご意見か。

**勝山** はい。

**木場** 自然資料貸出の様式を作成したとのことだが、貸出実績や予定はあるのか。

**川島** 今のところはない。外部の研究者等からの貸出依頼があった際に、適正に取り扱うことを目的に作成した。この他、館内に博物館的な収蔵庫がありそこで資料が保管されていることが対外的に知られていない可能性が高いため、館の収集保存の取組をアピールする意味合いもある。

**木場** 様式の作成以外にも、運搬費用の負担など貸出に係る、取り決めの詳細に関する検討も必要と思う。

**渡邊** 秋に外部委託されている科学実験教室を視察したが、館の企画立案への係わりや館が見据える事業の到達点が見えにくいように感じた。館として事業を主導するような姿勢をもう少し打ち出してもらいたい。また、天文については、プラネタリウム投影等において、充実したきめ細かい対応がなされていると感じた。

**会長** 十年計画表と27年度事業評価シートにおける事業計画についてであるが、整合していない部分があると感じた。例えば、天文展示「基礎的な内容から最新情報まで反映した天文情報」について、十年計画表に示された3項目が、(より詳細に計画が示されるべき)27年度シートにおいて完全に示されていない。自然体験「展示解説やワークショップ」「人材育成」においても同様である。

また、十年計画表及び27年度計画において、新規事業でない科学展示「中学校理科優秀作品展の開催」が修正箇所として表示されるのはおかしい。

この他、自然体験「展示解説やワークショップ」の「自然ワークショップ…」、自然体験「人材育成」、天文展示「基礎的な内容から最新情報まで反映した天文情報」について、(より詳細に計画が示されるべき)27年度シートの記載内容が十年計画表の記載とほぼ同一である。今一度整理してほしい。

#### 4 **議事2** 平成27年度事業計画について

会長の説明依頼に基づき、各担当から説明

**渡邊** かわさきサイエンスチャレンジについては、科学実験教室とのことなので、「ネットワーク事業」よりも「教育普及事業」に含めた方がふさわしいのではないか。

**大泉** 当該事業については、主催は科学館ではないこと、他団体との連携により行っている事業で

あることから、このような位置づけとしている。

**有北** 予算はどこから出ているのか。

**館長** 館予算からなので、「ネットワーク事業」と同時に「教育普及事業」としての位置づけもな  
くはないと思う。

**副会長** 実施回数の欄に「年間」とされているが、評価の際に具体的な指標が必要なもので、もっと  
具体的に示すようにしてはどうか。例えば第8次川崎市環境調査の実施について、その期限  
を示すようにしてはどうか。また資料1と事業計画との関係はどうなっているのか不明。

**会長** 年間を通じて行うという意味なので、期限等を示すのは難しいのでは。

**会長** 資料1との関係はどうか。

**黒瀬** 資料1の方は、運営基本計画に沿った事業実施を担保することを目的に作成したもので、資  
料2ほど具体的なつくりにはならない。一方、資料2については当該年度の具体的な事業計  
画資料として作成したものなので、ご指摘にあった実施回数の部分など、さらに具体的に示  
すことができる部分がないか、改めて見直し作業を行う。

**会長** 資料2についても、昨年度資料と異なる箇所について、朱書で示すようにしてほしい。  
このことにより新たに開始する事業や廃止とした事業について明示してほしい。

**有北** 予算減により、回数等を削らざるを得なくなった事業はあるのか。

**黒瀬** 予算減の半数以上を指定管理経費が、また、これ以外の差額の大部分をプラネタリウム特別  
番組事業費（27年度は館職員により制作）が占めているので、事業に係る予算についてはあ  
まり影響を受けていない。

**有北** 事業の受託団体の予算には影響はないのか。関係者から、スタッフ確保に係る人件費が足り  
ないとの話を聞いた。

**黒瀬** 影響は皆無ではないが、実施に際して可能な範囲内で支援を行っていききたい。

**有北** お願いする。

## 5 その他

### (1) 次回協議会について

**黒瀬** 第1回協議会については6～7月に実施し、前年度事業報告・評価を議事を中心としたい。  
また第2回については、9～10月に実施し、事業の進捗状況報告を予定している。事業視察  
については、11～12月にかけての実施を予定している。

### (2) その他（協議会）

**館長** 本協議会について、全市的な附属機関見直しの中で整理対象とされ、社会教育委員会議の専  
門部会の一つとして位置づける方向で見直しが行われている。なお、現在の任期の継続する  
来年5月末までは現在の形態となる。構成する委員は現状のとおりとし、今後の関係局との  
協議に際しては、その機能や役割を損なわないよう努力する。

**木場** 我々が行うことに変わりはないものと理解してよいか。

**館長** はい。

## 6 閉会

会長より閉会告知